

**野崎洋光氏考案のスペシャルメニュー発表会
地元の食材でおもてなし**

5月11日、グランデ那須白河ゴルフクラブ（西郷村）で、ふくしまデスティネーションキャンペーン（以下DC）杯ゴルフコンペが行われ、これに合わせ、しらかわ大使で「分けとく山」総料理長の野崎洋光氏によるスペシャルメニューの発表会が行われました。

このメニューは、DC等で訪れた方に地元食材を使った料理でおもてなしをするため作られたものです。食した参加者からは、「素材の味がしっかり出ていて、とてもおいしい」などの意見が聞かれました。

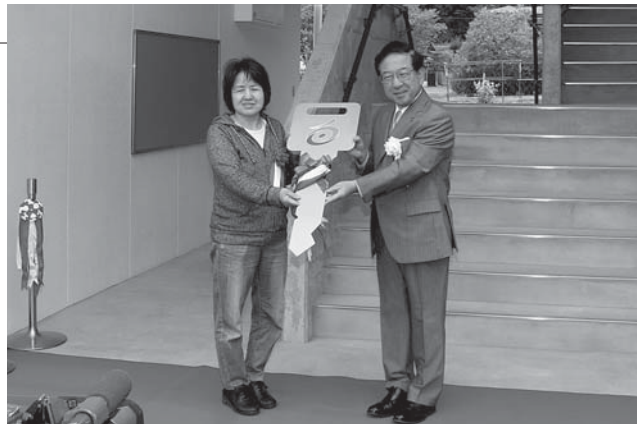


▲地元食材の良さを話す野崎さん

**葉ノ木平災害公営住宅鍵引き渡し式
被災者を支援する公営住宅が完成**

5月12日、葉ノ木平で災害公営住宅の鍵引き渡し式が行われました。

災害公営住宅は、震災で住んでいた住宅が被災し、市の建物被害認定調査で全壊の判定を受けた方や、半壊以上の判定で住宅を取り壊した方などが入居できる住宅で、鉄筋コンクリート造りの2階建て、2棟が建設されました。1棟につき、2DKと3DKが各4戸整備され、2号棟ではペットを飼育することが可能となっています。



▲鍵のレプリカを受ける入居者

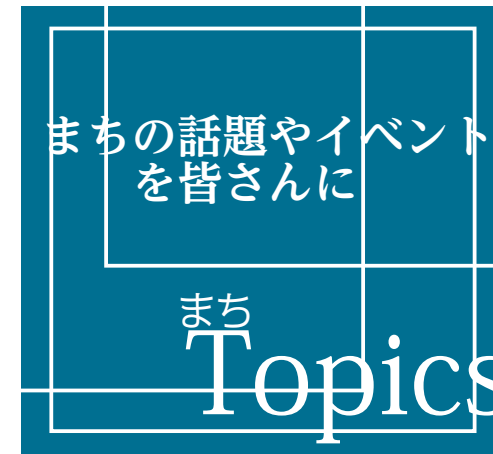
**大田市場で農産物のトップセールスを実施
市場関係者に安全性と食味の良さを紹介**

5月8日、東京都中央卸売市場の大田市場で、JAしらかわの主催により、農産物の安全性とおいしさをPRするトップセールスが行われました。この催しは、風評の払しょくと消費拡大を目的に行われているもので、今回で5回目の開催となります。

当日は、鈴木市長をはじめ西白河地方の町村長などが市場関係者に、ブロッコリー、フルーツトマト、キュウリの試食を振る舞い、検査結果に基づく安全性と、それぞれの野菜の特性や食味の良さを伝えました。



▲試食を振る舞い安全性とおいしさを伝える鈴木市長



▲昔懐かしい看板を背に行われたバルーンアート

**第7回大昭和祭り
昭和のレトロな雰囲気を楽しむ**

4月29日「昭和の日」、大工町から新蔵町一帯を会場に「第7回大昭和祭り」が開催されました。

会場では、クラシックカーや懐かしい映画看板などが展示されたほか、ガマの油やバナナのたたき売り、バルーンアート、こま回しなどが行われ、レトロな雰囲気を再現していました。当日は、天候にも恵まれ、多くの人出でにぎわいました。

また、マイタウン白河（本町）では、人気ガールズバンド「サイレントサイレン」のトークショーが行われ、本市出身でボーカリスト兼ギターを務める「すう」こと吉田董さんが故郷の思い出や今後の意気込みを話しました。さらに市民会館（手代町）では、「開運！なんでも鑑定団」の公開収録も行われました。



▲思い出等を話すサイレントサイレンの吉田さん（右から2番目）

**市みらい創造推進市民ワーキンググループ
地方版総合戦略に市民の意見を反映**

4月28日、人口減少対策の取り組みを定める「地方版総合戦略」に市民の意見を反映させるため、「市みらい創造推進市民ワーキンググループ」が設置され、26人の委員に委嘱状が交付されました。

当日は初会合も行われ、「白河に住み続けたいと思えるために必要なこと」をテーマに、委員と市職員が意見交換を行いました。今後は、「産業」「結婚・出産・子育て」「観光」「移住・定住」の各分野について協議が行われます。



▲活発な議論が展開された初会合